

どんな時代だったのか ～平成の静岡～

少子高齢化の進展による人口減少社会、合併による自治体数の減少、大規模自然災害の頻発とその対応など、平成に入って顕在化し、社会に突き付けられた課題は多々あります。一方、平成は、自然・文化資源への注目と活用、科学技術の発展によるイノベーション（技術革新・社会変革）が活性化した時代でもあります。平成の終わりを前に、平成の30年間でどんな時代で、社会にとってまた静岡にとってどのような意味を持っていたのかを振り返ります。

**参加
無料**

第1回
6/30 (土)

減災から防災社会へ ～想像力の欠如に陥らない防災を～

講師：岩田 孝仁（静岡大学地域創造学環・防災総合センター教授／防災学）

第2回
8/4 (土)

**静岡の大地が語る言葉を読み解く
～世界遺産・富士山と伊豆半島ジオパーク～**

講師：小山 真人（静岡大学地域創造学環・教育学部教授／火山学）

第3回
9/1 (土)

平成の大合併・地方版総合戦略と静岡県自治体

講師：西原 純（静岡大学名誉教授／地理学、地域政策）

第4回
10/6 (土)

静岡発の次世代テレビジョンをつくる！

講師：川人 祥二（静岡大学電子工学研究所教授／電子工学）

第5回
11/17 (土)

**人口減少社会の処方箋
～女性の活躍とは？ 男女共同参画を考える～**

講師：跡部 千慧（静岡大学男女共同参画推進室助教／社会学、ジェンダー研究）

時間○14:00～16:00

会場○あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6F大ホール

定員○各回250人

主催○静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局

※4回以上ご参加の方には修了証を発行します。



【住所】〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

【アクセス】JR静岡駅から国道1号線沿いに西（安倍川の方）へ徒歩9分

FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。

〔FAX〕054-252-0310

〔メール〕shizuoka@yomiuri.com

〔葉書〕〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F

読売新聞静岡支局 静岡市民講座係

※氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記してください。

申込先

お問い合わせ

内容に関する
お問い合わせ

受付に関する
お問い合わせ

静岡大学 地域創造教育センター
地域人材育成・プロジェクト部門
TEL 054-238-4817 [平日9:30～16:00]
メール:kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

読売新聞静岡支局 静岡市民講座係
TEL 054-252-0171 / FAX 054-252-0310
メール:shizuoka@yomiuri.com